

研究名： 専門治療が必要で当院救急センターを受診した小児患者の 地理的受診動向の検討

1. 研究の目的

以前に緊急度の高い治療（腕脚の骨折、精巣捻転、虫垂炎での手術）で救急センターを受診された患者様が、どれくらい遠方から受診されたかを夜間の受診と日中の受診とで比較します。これで夜間はご自宅近隣の受診先が見つかりにくいのかどうかについて研究します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2018年4月1日から2023年3月31日に上記疾患で手術を受けられた方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2026年3月31日
- ③ 研究方法：期間中に上記疾患で緊急に手術をお受けになった方が夜間と日中で成育医療研究センターからどの程度遠方から受診されたかに違いがあるかを比較します。

3. 研究に用いる情報の種類

診断名、受診時間帯（日中 9-17 時か夜間 17-9 時か）、お住まいの住所の近辺の緯度経度をランダムにずらしたもの（例：東経 139.614, 北緯 35.636）等
（情報の利用開始日：2025年4月1日）

4. 情報の公表

日本小児科学会学術集会で発表します

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター救急診療部

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2025年6月10日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 救急診療部 佐々木隆司

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話 : 03-3416-0181 (内線 : 7555)

○研究責任者 :

国立成育医療研究センター 救急診療部 佐々木隆司